



2014. 8月発行 No.75

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

ニツ森、粕毛川源流部核心地域を巡視

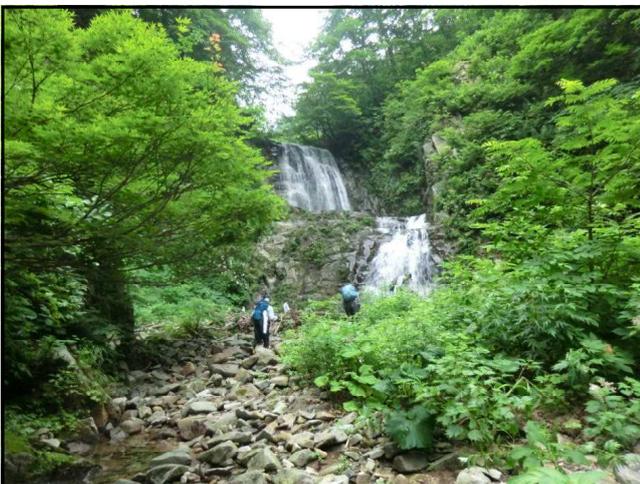
7月26日(土)白神山地世界遺産地域連絡会議主催の合同パトロールが遺産地域巡視員、国、県及び町の行政関係者など31名が参加して行われました。秋田県側のパトロールコースは、粕毛川源流部の本流と三蓋沢、ニツ森の3コースで行われました。

ニツ森コースでは、登山客へのマナー啓発用パンフレットの配布や、ニツ森山頂までの巡視を行い、立木の損傷、植物の盗掘、ゴミの投棄の有無を確認しました。

巡視終了後、意見交換を行い「登山道について、所々ササ、灌木などで狭くなっている箇所が見られた」「木の階段ではアンカーが浮いてきている。木に滑り止めを打っている箇所では、釘が出てきていて危ない」との意見が出されました。

一方、粕毛川源流部コースでは水沢巡視管理棟から核心地域に向かい、粕毛川本流と三蓋沢の合流部から本流を下る本流コースと三蓋沢を上る三蓋沢コースとに分かれ巡視を行いました。

本流コースは折戸沢合流部までを巡視し、三蓋沢コースは三蓋沢の滝までを巡視しましたが、



三蓋沢の滝(三蓋沢コース)



登山道上の枯れ枝を除去(ニツ森コース)

両コースとも立木の損傷、植物の盗掘、ゴミの投棄などの違法行為は確認できませんでした。

三蓋沢と本流の合流部で、去年は野営された跡を確認しましたが、今年度に入ってから利用された形跡はありませんでした。今年度は、粕毛林道が通行止めとなっているため釣り人の侵入がなかったものと推測されます。

今後も、核心地域の定期的な巡視を行い違法行為の早期把握に努めるとともに、登山者へのマナー啓発を続けていきたいと思えます。

残雪と新緑のブナ林をじっくりと

6月8日（日）今年度初めてとなる白神森林講座「残雪と新緑のニツ森&留山のブナ林」（主催・一般社団法人秋田白神コミュニケーションセンター、共催・藤里森林生態系保全センター）を開催しました。

当日は、良く晴れた絶好の登山日和となり、県内から24名の方々が参加されました。

参加者の皆さんは、講師の後藤千春さん（日本山岳ガイド協会認定登山ガイド）から森林を散策しながら、初心者向けのひと味違った写真の撮影方法を学びました。

ニツ森登山道には、所々に残雪もあり足元を気にしながらの登山となりましたが、尾根に出て眼下に広がる世界遺産核心地域の雄大なブナ林を一望すると、その景色に皆さんは感動した様子でした。山頂では白神岳や向白神岳、遠くは日本海や男鹿半島まで望むことができました。

下山後ニツ森登山口で昼食を取り、留山にてブナ林の散策を行いました。後藤講師から留山のブナ林の特徴や写真の撮影方法の説明を受け、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。



残雪を踏みしめながら（ニツ森）

絶好の登山日和、眺望の良さに歓声



皆さん笑顔です（藤里駒ヶ岳）

7月5日（土）今年度2回目となる白神森林講座「大展望の藤里駒ヶ岳と樺岱のブナ林」を開催しました。

当日はよく晴れた絶好の登山日和となり、秋田市や能代市、大館市などから参加していただきました。

参加者の皆さんは講師の後藤千春さんから疲れない山登りのしかたや初心者向けの写真の撮影方法を学びました。

登山の途中では、緑鮮やかなブナ林やブナ

の巨木、ブナの枝に寄りかかる枯木の様子などを、写真の撮影方法の説明を受けながら写真に収め、ゆっくりとしたペースで頂上を目指しました。また、藤里駒ヶ岳山頂の姿をとらえながら前岳から伸びる尾根に到達すると、その眺望の良さに歓声を上げ、登山の疲れも一気に吹き飛んだようでした。山頂に到着し昼食を取り、記念撮影やニツ森、小岳、白神岳の姿をたん能した後、無事下山し第2回目の白神森林講座を終えました。